

リベットでニーズに応える ファスニング界の雄

期相談
納相談
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応



日本初のチタン製ブラインドリベット

業務内容
用途が広い多種多様な
ブラインドリベット

複数の鋼材をつなぎ合わせる際に使用するリベット。中でも、裏側に手が回らない場合でも片側から結合できるブラインドリベットの製造を手掛けているのがニッセンファスナーだ。近年は海外産の安価な製品も多く出回っているが、同社では創業以来培われた技術力を活かした個性的なりベットを製造している。標準型のオーブントタイプ、気密性が高く頭部落下しないクローズドタイプ、さらに特殊な形状に加工した多彩なブラインドリベット等、顧客のニーズに合わせて400種以上を製造。用途は自動車、造船、住宅、プリント基盤等、実に幅広い。

日本初
チタン製ブラインドリベット
の開発・量産化に成功

自動車やオートバイ等の素材が軽量化するにつれ、ブラインドリベットの重さも重要になってくる。そこで同社は、ステンレスや鉄の60%の重量で、しかも耐食性があるチタンに着目。加工が難しい素材だが、「これは海外ではできない。メイドインジャパンの底力を発揮する時だ」と開発に着手。苦難の末に日本で初めてチタン製のブラインドリベットの開発・量産化に成功した。異種金属接触による腐食を起さないため、現在では海洋産業等のさびやすい現場で特に重宝されている。

世界初
水密性が高い
シールドバルブリベットの開発

リベットは強い振動や環境の変化で

も落ちないこと、さらに高い水密性や気密性が求められる。

例えば従来のシールドリベットは、頭部落下防止構造を持ち水密性も高いが、屋根等の昼夜の温度差が激しい環境では母材の伸縮によって下穴が広がり、脱落する可能性があった。一方、バルブリベットは、締結力が高いが水密性が劣るといふ難点が。そこで双方の機能を結合させた製品開発に着手したのだ。しかし、

シャフトとボデいのバランスを取るのが難しく、開発はスムーズには進まなかったという。下穴充填機能をつけることで水密性はIPX7まで高まり、リベットの変形部を大きくして母材を保護、さらに袋状にしたボデいで脱落防止に成功。世界初の製品として、自動車関連や造船業界で使われている。

オンリーワン
カスタム品も多く
業界の信頼は高い

「安心して使っていただけの高品質があつてこそ日本のものづくりだ」と言い切る山下社長。同社ではオーダーメイドの製品も多い。ニーズを細かく聞き出し、応えていく。今後その姿勢を貫いて、新技術を開発したいと語る。世界のトップブランドとしての活躍が期待される。



世界初高性能のシールドバルブリベット

COMPANY PROFILE

ニッセンファスナー株式会社

ISO 9001

当社の
歴史

昭和24年に父である先代が、釘や鉄線をつくる会社としてスタートさせました。ある時、アメリカでブラインドリベットを使っている場面を見た父が興味を持ち研究・開発を始め、昭和44年に初めて国産化に成功しました。以来、時代のニーズをくみ取って、高品質なりベットの製造を行っています。豊富な品揃えとオーダーメイドで特殊な製品にも対応できるのが強みです。

ものづくりは人づくり。設備だけが充実してもいけない。バランスが大切です。

代表取締役社長 山下 眞一さん



■主な事業内容

各種ブラインドリベット・特殊リベットの製造・販売、各種釘の製造・販売等

■主な取引先(納入先)

自動車産業、電気メーカー、住宅メーカー、エクステリア関連、海洋土木関連等

住所 / 〒579-8027
東大阪市東山町
10-25
TEL / 072-980-6400
FAX / 072-980-1135
創業 / 昭和24年1月
設立 / 昭和45年12月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 36名

<http://www.nissen-co.co.jp/>